



常任委員会の様子

繰出金が増えた場合、地方交付税は増えるのか。
〔答弁〕 地方交付税には普通交付税と特別交付税があるが、どちらも繰出金が増えたとしても、交付税が増える仕組みではない。

〔質疑〕 健全経営化のために国に提出する改善計画案のままで改善計画は立てられなかったのか。
〔答弁〕 現在の公設公営では、現実的には改善計画は立てられない状況にある。

第451回 市議会定例会総務産業建設常任委員会（9月16日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	審査結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			澁谷政義	高橋 純斎	小川 正人	保科善一郎	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久
請願第4号 安心安全な地域医療のために、刈田病院の健全経営を求めることに関する請願（継続審査の動議）		否決	○	○	×	○	×	×	×	委
請願第4号 安心安全な地域医療のために、刈田病院の健全経営を求めることに関する請願（採決）		採択	×	×	○	×	○	○	○	委

※「○」⇒採択に賛成した委員、「×」⇒採択に反対した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない
 ※総務産業建設常任委員会は議員8人で構成される

討 論

定例会最終日(9月27日)に行われた討論の主な内容は次のとおりです。

◎安心安全な地域医療のために、刈田病院の健全経営を求めることに関する請願

反 対 保科 善一郎

今回提出された請願書について、3千310人の署名を集めて提出されたことを大変重く受け止める。

また、請願の趣旨もおおむね理解する。

しかし、刈田病院がなぜこのような経営悪化に至ってしまったのか、そして今後、刈田病院経営の在り方などをどのように行うべきか、これらの課題についての背景や、財政などについての認識や理解が不足しているように思う。

また、刈田病院は地方自治法に基づき、白石市、蔵王町、七ヶ宿町が設置した特別地方公

共同体であり、法人格を持った一部事務組合としての組織である。

つまり、今回の請願は組合議会での議論すべきものであり、請願を採択することは、地方自治法に定める一部事務組合としての組合議会の権能を冒すことになり、越権行為に該当する。

刈田病院の経営改善は、白石市民や蔵王七ヶ宿町両町民の共通の思いという点では一致していると思われる。

病院の未来を考える上で、組合を中心に置き、正副管理者の動向を注視しながら、議会としても調査・研究を進めていくべきと考ええる。

以上の理由から、この請願の採択に反対する。

賛 成 大森 貴之

刈田病院の存続を考える場合、経営健全化を実現するには公設民営化を推進すべきであると考ええる。

現在の公設公営のままでは繰出額が大きく、86.7%の市

の負担は毎年10億円を超えるものとなり、その状態が今後も続けば、市の財政破綻の恐れがある。

また、公設公営での收支改善に向かう具体的な経営改善計画案がなく、国に提出する財政健全化計画でも、公設民営化による対策を提言している。この計画書は蔵王町長、七ヶ宿町長両副管理者の承認を得ている。

現在のままでは、東北大学からの医師の確保や診療科目を増やすことも望めず、営業利益の増収も見込めないが、公設民営化に移行すれば、診療科目の増設や診療体制の充実が期待できるものと考ええる。

市民の命を守る市民のための病院として、刈田病院を存続させるためにも、公設民営化も含めた経営の健全化を推進する必要があることから、本請願を採択することが最も重要な事と考ええる。

市の財政に多大な影響が生じている今、白石市議会としての意思を表明すべきである。以上の理由から、この請願の採択に賛成する。